

令和6年度 基幹型及び在宅介護・地域包括支援センター事業業務報告

事業項目		事業内容	基幹型と在支・包括との業務分担	実施状況	備考
組織・運営体制	事業を適切に運営するための体制構築	市や他センターとの連携、適正な人員配置の促進など事業を適切に運営するための体制を構築	〈基幹型〉 適正な人員配置の確認 市と各在宅介護・地域包括支援センターの情報や対応の方向性を揃えるため定期的な連絡会の開催	・年度当初(4月)に、各法人が市に提出する人員配置表で、適正な人員配置を確認している。配置状況は資料8-2 1ページ参照 ・毎月第3金曜日に、市と在宅介護・地域包括支援センターにて、定期的に連絡会議を実施している。	
	職員の確保・育成	職員研修の実施、研修への参加等職員の資質の向上に向けた取組を実施	〈基幹型〉 在宅介護・地域包括支援センター職員研修として、定期的な研修会の開催企画・実施	在宅介護・地域包括支援センター職員対応力向上研修会を開催した。 第1回 令和6年7月5日(金) 参加人数 49人 オンライン開催 内容:『高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画、令和6年度 基幹型及び在宅介護・地域包括支援センター運営方針並びに事業計画』 第2回 令和6年8月1日(木) 参加人数 44人 対面開催 内容:『虐待対応研修(認知症の虐待事例報告とグループワーク)』 第3回 令和6年12月2日(月) 参加人数 39人 対面開催 内容:『ファシリテーション研修「みんなが話したくなる場づくり(前半)」』 第4回 令和7年2月18日(火) 参加人数 35人 対面開催 内容:『ファシリテーション研修「みんなが話したくなる場づくり(後半)」』	
	利用者が相談しやすい相談体制の構築	夜間・休日の相談対応を実施	〈在支・包括〉 夜間・休日の相談対応	平日夜間及び休日は事務所は休みだが、電話が転送され相談対応を実施している。	
		基幹型及び在宅介護・地域包括支援センターを市民に周知	〈基幹型〉 市HP活用や配布物を利用した全市的な周知 〈在支・包括〉 主に担当エリアへ周知	〈基幹型〉 市HP、高齢者サービスの手引き及びエンディングノートにおける記載、在支・包括のチラシ等で全市的に周知している。 〈在支・包括〉 独自チラシ等で、主に担当エリアへ周知している。	

事業項目		事業内容	基幹型と在支・包括との業務分担	実施状況	備考
個人情報 の保護	個人情報保護・情報セキュリティの徹底	個人情報管理体制を構築し、個人情報を適切に管理	<基幹型> 庁内の個人情報、情報セキュリティ研修の実施 <在支・包括> 各法人の個人情報、情報セキュリティに則った研修会を実施(年1回)	<基幹型> 庁内の個人情報、情報セキュリティ研修を実施している。 <在支・包括> 各法人の個人情報及び情報セキュリティの規則に則って、研修会を少なくとも年1回、または、各法人の規定に則った回数、実施している。	
利用者満足 の向上	利用者満足度向上に資する相談・苦情対応体制の整備	苦情に対する対応や苦情内容の記録報告の体制を整備	<基幹型> 苦情に対する対応や苦情内容の記録報告の体制を整備 <在支・包括> 各法人の苦情相談対応の規則に従った体制整備	<基幹型> 相談記録票を利用して、記録を残している。 <在支・包括> 各法人の苦情相談対応の規則に従った体制を整備している。	
	相談者のプライバシーの確保	相談時にプライバシーに配慮した環境を確保	<基幹型> 相談時にプライバシーに配慮した環境を確保 <在支・包括> 相談時にプライバシーに配慮した環境を確保	<基幹型><在支・包括> 相談室を使用して、プライバシーに配慮した環境を確保している。	

事業項目		事業内容	基幹型と在支・包括との業務分担	実施状況	備考
総合相談支援	地域における関係機関・関係者のネットワーク構築	地域ネットワーク構築にむけた社会資源の発見・整備	<基幹型> 全市的な関係機関や市内における連携、ネットワークの構築 <在支・包括> 地域の社会資源の発見とネットワークの構築	・関係機関が各通常業務の中で、異変の発見、速やかな通報、相談窓口の周知等の取組みに加え、消費者被害・認知症・生活困窮者等の課題に対応するため、「武蔵野市見守り・孤立防止ネットワーク連絡協議会」を開催し、安否確認の対応報告や連携体制の強化に向けた情報交換を行っている。 ・令和2年度までは高齢者支援課が担当だったが、高齢者だけでなく様々な方が孤立しないよう見守っていく地域共生社会を推進するため、令和3年度から、それぞれの孤立防止対応は各課が行い、とりまとめる協議会運営は地域支援課が実施するとした。 ・令和6年4月の孤独・孤立対策推進法の施行に伴い、本市においては孤独・孤立対策の官民連携「プラットフォーム(PF)」として見守り孤立防止ネットワーク連絡協議会を位置づけた。 ・武蔵野市見守り孤立防止ネットワーク連絡協議会の開催(年2回開催) 第1回:令和6年8月8日(木) 第2回:令和6年12月3日(火) ・「第2期武蔵野市成年後見制度利用促進基本計画」(令和6年度～)に基づき、「武蔵野市成年後見制度地域連携ネットワーク連絡協議会」を開催(第1回:令和6年8月26日)。専門職団体、民生委員、各在宅介護・地域包括支援センター、市関係課等の連携を深めた。 <基幹包括> ・食事サービス事業者との情報交換会を対面で開催。食事サービス提供事業者の状況の把握をし、地域の見守り体制の確認をした。 令和6年12月9日(月) 武蔵野市を配達エリアとする事業者が参加 <在支・包括> 地域連携に係る会議に出席 資料8-2 11~13 ページ参照	

事業項目		事業内容	基幹型と在支・包括との業務分担	実施状況	備考
総合相談支援	地域における高齢者の実態把握	要介護認定の新規申請者等の実態把握及び台帳作成 介護サービス未利用者の定期的な実態把握	〈在支・包括〉 実態把握及び台帳作成 介護サービス未利用者の定期的な実態把握	令和6年4月～令和7年3月までの在宅介護・地域包括支援センターの要介護認定調査件数 ・ゆとりえ 581 件 ・吉祥寺本町 249 件 ・高齢者総合センター 754 件 ・吉祥寺ナーシング 329 件 ・桜堤ケアハウス 639 件 ・武蔵野赤十字 285 件 在宅介護・地域包括支援センター 合計 2,837 件 ・熱中症予防シート及び経口補水液を活用した実態把握については以下のとおり。 〈内容〉 ひとり暮らし・高齢者のみ世帯を中心に熱中症予防シート及び経口補水液を配布することにより、熱中症への注意を喚起し、室内での熱中症を予防する。あわせて、地域包括支援センター職員等が高齢者の実態把握訪問を行う際の手段として活用し、円滑な実態把握につなげる。 〈配布実績〉 熱中症予防シート:民生児童委員 896 枚、ケアマネジャー 842 枚、基幹型地域包括支援センター及び在宅介護・地域包括支援センター等 460 枚、市役所窓口等 22 枚 計 2,220 枚 経口補水液:基幹型地域包括支援センター及び在宅介護・地域包括支援センター等 155 個※配布結果についてアンケートを実施 〈配布期間〉 令和6年4月下旬から9月 30 日まで ・サービス未利用者の実態把握については資料8-4参照	

事業項目		事業内容	基幹型と在支・包括との業務分担	実施状況	備考
総合相談支援	相談事例解決のための対応	初期段階での相談対応及び継続的・専門的な相談支援	〈基幹型〉 庁内連携や関係機関との連携対応が必要な場合の連絡調整 〈在支・包括〉 在宅の方の相談支援	引き続き、相談対応については重点をおいて取り組みを実施。相談実人数、相談支援業務延べ数、相談者の区分、相談内容、訪問による相談結果については、資料8-2 2～5ページ参照。	
	家族介護者や複合的課題を有する世帯等への支援	家族介護者の相談支援 複合的な課題に対する関係機関との連携	〈基幹型〉 庁内連携や関係機関との連携対応が必要な場合の相談支援	・家族介護者の相談については、窓口・電話等で対応している。 ・複合的な課題については、内容に応じ、庁内の関係各課及び福祉総合相談窓口と連携している。	
権利擁護	高齢者虐待への対応	介護サービス事業者及びケアマネジャーに対する虐待に関する研修を実施(年2回)	〈基幹型〉 研修会の方向性及び内容の検討、研修会の開催 〈在支・包括〉 基幹型と連携して、研修内容の検討、研修会の実施	〈基幹型〉〈在支・包括〉 ・武蔵野市高齢者虐待防止研修(第1回) 「高齢者虐待防止に関する基礎知識と実践」 講師 一般財団法人権利擁護支援プロジェクト ともす代表理事 川端伸子氏 日時 令和6年12月4日(水)午後6時30分から午後8時 オンライン開催 対象者 居宅介護支援事業所及び通所・訪問サービス事業者に所属する職員 出席者 152人 ・武蔵野市高齢者虐待防止研修(第2回) 「高齢者虐待防止における多職種連携」 講師 一般財団法人権利擁護支援プロジェクト ともす代表理事 川端伸子氏 日時 令和7年2月7日(金)午後6時30分から午後8時 集合研修 対象者 居宅介護支援事業所及び通所・訪問サービス事業者に所属する職員 出席者 96人	
		市民に対する虐待防止に関する普及啓発を実施	〈基幹型〉 普及啓発方法の検討 〈在支・包括〉	〈基幹型〉〈在支・包括〉 社会福祉士連絡会を中心に、見守りのチラシを作成し、各在宅介護・地域包括支援センターのイベント等で普及啓発のため配布している。	

事業項目		事業内容	基幹型と在支・包括との業務分担	実施状況	備考
権利擁護	高齢者虐待への対応	施	基幹型と連携して普及啓発を実施		
		高齢者及び障害者虐待防止連絡会議の実施(年2回)	<基幹型> ・障害者福祉課と共催で開催 ・関係各課や機関とともに、虐待防止の取り組みについて検討 <在支・包括> 会議に出席	【参加団体】 武蔵野警察署、多摩府中保健所、居宅介護支援事業者、地域活動支援センター地域生活支援センターぴーと、地域活動支援センターライフサポート MEW、地域自立支援協議会権利擁護部会、武蔵野市福祉公社権利擁護センター、在宅介護・地域包括支援センター、武蔵野市障害者福祉センター、地域支援課、生活福祉課、高齢者支援課、障害者福祉課、健康課、子ども子育て支援課子ども家庭支援センター 第1回 令和6年7月 11 日(木) 第2回 令和7年1月 24 日(金)	
		市民に対する見守り・孤立防止に関する普及啓発の実施(年2回)	<基幹型> ・普及啓発方法の検討 ・地域支援課主催の見守り・孤立ネットワーク連絡協議会に出席して関係機関と連携を図る ・普及啓発方法の検討 <在支・包括> 会議に出席	○見守り・孤立防止協定締結団体(R7.3.31 現在) ・武蔵野市見守り・孤立防止ネットワーク参加団体数:34 団体 ・協定締結団体数:23 団体(R6.10 月に1団体(多摩きた生活クラブ生活協同組合)追加) ・第1回 令和6年8月8日(木) ・第2回 令和6年 12 月3日(火)	
	消費者被害防止の取り組み	・消費者被害防止、防犯対策を目的とした庁内及び関係機関の連携強化連絡会議 ・消費生活センターとの連携	<基幹型> 会議内容について関係課と調整等。連絡協議会へ出席。 消費生活センター主催連携会議出席 <在支・包括> ネットワークを活用した個別支援	<基幹型> ・消費者安全確保地域協議会設置にむけた会議に出席(令和6年6月 19 日)。令和 7 年度に設置予定。開催時には関係課と会議内容について調整等を行い、出席する。 ・消費生活センターの職員が在宅介護支援センター連絡会議に出席し、市内で発生している消費者被害情報提供を行い、参加者に注意喚起を行った。 ・「安心・安全ニュース」を2か月に1回発行して、注意喚起を促している。 <在支・包括> 警察からの情報提供を活用し、消費者被害についての注意喚起を、個別に実施している。	

事業項目		事業内容	基幹型と在支・包括との業務分担	実施状況	備考
権利擁護	人生最期等の過ごし方に対する自己決定支援	エンディング(終活)支援	〈基幹型〉 普及啓発方法の検討 〈在支・包括〉 基幹型と連携して普及啓発の実施	令和3年8月に武蔵野市福祉公社の協力のもと武蔵野市版のエンディングノートを作成し、配布を開始した(令和6年度の配布数:697冊)。出前講座の実績(令和6年度の実施数:7回 参加者数:97人)	
包括的・継続的ケアマネジメント支援	介護支援専門員支援体制の構築	主任介護支援専門員研修会開催(年1回)・	〈基幹型〉 保険者が開催する研修会に参加、出席	武蔵野市主任介護支援専門員研修への出席 内容:「仕事と介護の両立支援」 講師: NPO 法人となりのかいご 代表理事 川内潤氏 日時: 令和7年2月4日(火)	
		介護支援専門員研修会開催(年1回)	〈基幹型〉 保険者が開催する研修会に参加、出席	武蔵野市ケアマネジャー全体研修への出席 内容:「家族対応が困難な事例への対応」 講師: 春日 武彦 氏 日時: 令和7年2月26日(水)	
	介護支援専門員に対する相談対応	困難事例に対する相談支援	〈基幹型〉 課題解決のため、多機関と連携・調整 〈在支・包括〉 ケアマネジャーと連携した個別支援	〈基幹型〉 庁内関係各課、他機関等との連携や調整を行い、在宅介護・地域包括支援センターが行うケアマネジャー支援がより円滑に進められるよう体制づくりを行う。 〈在支・包括〉 ケアマネジャーが担当する個別事例について相談を受けるだけではなく具体的な支援も行っている。	
地域ケア会議	個別課題や地域課題解決のための、関係者との連携による地域ケア会議の開催	ケアプラン指導研修の実施(年10回 個別ケース約60件)	〈基幹型〉 会議・研修の運営 〈在支・包括〉 委員として出席	介護支援専門員から提出されたケアプランをもとに基幹型地域包括支援センター、在宅介護・地域包括支援センターの主任介護支援専門員等、武蔵野市住宅改修・福祉用具相談支援センターに所属する専門職(PT、OT、ST、排泄ケア専門員)、基幹相談支援センター(障害者福祉課)、保険者等により「ケアマネジメントの質の向上」を目的とした会議を開催。会議の結果を事例提出者へ在宅介護・地域包括支援センターの主任介護支援専門員が面接で伝える。 第1回 令和6年6月12日(水) 事例数 5 第2回 令和6年7月10日(水) 事例数 7 第3回 令和6年8月7日(水) 事例数 8	

事業項目		事業内容	基幹型と在支・包括との業務分担	実施状況	備考
地域ケア会議	個別課題や地域課題解決のための、関係者との連携による地域ケア会議の開催			第4回 令和6年9月11日(水) 事例数 8 第5回 令和6年10月9日(水) 事例数 8 第6回 令和6年11月13日(水) 事例数 4 第7回 令和6年12月11日(水) 事例数 5 第8回 令和7年1月15日(水) 事例数 6 第9回 令和7年2月12日(水) 事例数 2 第10回 令和7年3月12日(水) 事例数 5 合計 58 事例(ケアマネジャー56名、19事業所) ケアプラン指導研修フォローアップ研修 日 時: 令和6年4月25日(木) ZOOMによるオンライン 研修内容: 講演会『パーキンソン病患者を支える ～運動症状と非運動症状を理解しよう～』 講師: 武蔵野赤十字病院 脳神経内科 副部長 一條 真彦先生 出席人数: ケアマネジャー118名、42事業所	
		地区別ケース検討会における事例検討の実施(年30回 センターごとに年5回)	<基幹型> 地区別ケース検討会の開催支援 <在支・包括> 地区別ケース検討会の開催	<u>ゆとりえ(東部第1)</u> ① 令和6年6月20日(木) 事例検討『進行性核上性麻痺がある本人の在宅生活をどう支えるか』 ② 令和6年9月19日(木) 事例検討『サービスにつながらない方への支援について』 ③ 令和6年10月17日(木) 事例検討『認知症による問題行動のある独居高齢者の支援 ～本人の生命(いのち)を守るためには～』 ④ 令和6年11月21日(木) 事例検討『エレベーターのないマンションに住む転倒を繰り返す高齢者 ～外出できない状況を解決するには～』 ⑤ 令和7年1月16日(木) 事例検討『一人暮らしの本人とキーパーソンの家族の意向が違う ときの支援』	

事業項目		事業内容	基幹型と在支・包括との業務分担	実施状況	備考
地域ケア会議	個別課題や地域課題解決のための、関係者との連携による地域ケア会議の開催	地区別ケース検討会における事例検討の実施（年30回 センターごとに年5回）	<基幹型> 地区別ケース検討会の開催支援 <在支・包括> 地区別ケース検討会の開催	⑥ 令和7年2月20日(木) 事例検討『暴言が著しくサービス拒否の強い利用者にケアマネはどうかかわるべきか』 吉祥寺本町（東部第2） ① 令和6年6月19日(水) 事例検討『介護疲れをしている義妹も含めた高齢姉妹の支援を考える』 ② 令和6年7月17日(水) 事例検討『生活課題の多い利用者の支援を考える』 ③ 令和6年9月18日(水) 事例検討『視覚障害があり知的にも問題のあるケースの危機管理を含めた支援を考える』 ④ 令和6年10月16日(水) 事例検討『要望の多い利用者親子の支援を円滑に行う方法を考える』 ⑤ 令和6年11月20日(水) 事例検討『同居家族の支援も視野に入れた利用者のこれからの生活を考える』 ⑥ 令和6年12月18日(水) 事例検討『認知症に対する理解が不十分な夫が、認知症の妻を支えるときの課題をケアマネの立場から考える』 ⑦ 令和7年2月19日(水) 事例検討『パーキンソン病を患う利用者が自分らしく生活していくための支援を考える』 高齢者総合センター（中央第1） ① 令和6年6月21日(金) 事例検討『認知症独居の方の理解を深めるには』 ② 令和6年7月19日(金) 事例検討『認知症高齢者とその家族への支援について』 ③ 令和6年9月20日(金) 事例検討『アルコール依存・うつ病の方(74歳男性要介護3)の支援について』	

事業項目		事業内容	基幹型と在支・包括との業務分担	実施状況	備考
地域ケア会議	個別課題や地域課題解決のための、関係者との連携による地域ケア会議の開催	地区別ケース検討会における事例検討の実施（年30回 センターごとに年5回）	<基幹型> 地区別ケース検討会の開催支援 <在支・包括> 地区別ケース検討会の開催	④ 令和6年10月18日（金） 事例検討『胃がんの夫と統合失調症の息子を持つAさんの支援を考える』 ⑤ 令和6年11月15日（金） 事例検討『統合失調症の方への支援について』 吉祥寺ナーシングホーム（中央第2） ① 令和6年6月13日（木） 事例検討『認知症がみられるケースとその家族への支援』 ② 令和6年7月11日（木） 事例検討『超高齢夫婦世帯への支援』 ③ 令和6年11月14日（木） 事例検討『言語や習慣の異なる外国人夫婦への支援を考える』 ④ 令和6年12月12日（木） 事例検討『終末期を生きる利用者への支援～残された時間を大切に過ごすためにすべきこと～』 ⑤ 令和7年2月13日（木） 事例検討『乳がんと診断された方の日常に寄り添う～ケアマネジャーとしての立場を考える』 桜堤ケアハウス（西部第1） ① 令和6年6月18日（火） 事例検討『依存心の強い本人とそれに応え精神的負担を抱える妻の支援を考える』 ② 令和6年7月16日（火） 事例検討『キーパーソンがいない、99歳独居高齢者の支援』 ③ 令和6年9月17日（火） 事例検討『老老介護の家族支援 ～認知症の夫を介護する要介護・妻の支援を考える～』 ④ 令和6年11月19日（火） 事例検討『がん末期患者の第2号被保険者の支援』 ⑤ 令和6年12月17日（火） 事例検討『サービス導入しにくい高齢夫婦の支援』	

事業項目		事業内容	基幹型と在支・包括との業務分担	実施状況	備考
地 域 ケ ア 会 議	個 別 課 題 や 地 域 課 題 解 決 の た め の、 関 係 者 と の 連 携 に よ る 地 域 ケ ア 会 議 の 開 催	地区別ケース検討会における事例検討の実施（年30回 センターごとに年5回）	<基幹型> 地区別ケース検討会の開催支援 <在支・包括> 地区別ケース検討会の開催	<u>武蔵野赤十字(西部第2)</u> ① 令和6年7月18日(木) 事例検討『アルコール依存症の方が在宅で生活するためにケアマネジャーが知っておくべき事は何か』 ② 令和6年10月17日(木) 事例検討『「緊急時対策が立てられない！」認知症・独居高齢者・エレベーター無しの独居高齢者を助ける』 ③ 令和6年11月21日(木) 事例検討『精神疾患がある本人とその家族への支援』 ④ 令和6年12月19日(木) 事例検討『ALSを受け入れきれない本人と介護に専念したくない妻』 ⑤ 令和7年1月16日(木) 事例検討『介護サービスが入らなかった超高齢夫婦への支援を考える』	
		個別地域ケア会議の開催（年18回 センターごとに年3回）	<基幹型> 開催内容の検討・整理 <在支・包括> 会議開催	資料8-3 3、6、10、11ページ参照	
		エリア別地域ケア会議の開催（年6回 センターごとに年1回）	<基幹型> 開催支援 <在支・包括> 会議開催	資料8-3 2、4、5、7、8、9、12、13ページ参照	
		全市的地域ケア会議への出席	<基幹型> 会議内容について関係各課・関係機関と調整等 <在支・包括> 会議に出席	武蔵野市在宅医療・介護連携推進協議会（年2回） 第1回 7月10日、第2回 3月6日 ① 入退院時支援部会 第1回 7月8日、第2回 10月3日、第3回 1月8日 ② ICT連携部会 第1回 7月11日、第2回 10月31日、第3回 1月29日	

事業項目		事業内容	基幹型と在支・包括との業務分担	実施状況	備考
地域ケア会議	個別課題や地域課題解決のための、関係者との連携による地域ケア会議の開催	全市的地域ケア会議への出席	<基幹型> 会議内容について関係各課・関係機関と調整等 <在支・包括> 会議に出席	③ 多職種連携推進・研修部会 第1回 7月17日、第2回 8月21日、第3回 11月20日、9月26日(研修・講義)、10月10日(研修・グループワーク)、2月28日(研修) ④ 普及・啓発部会 第1回 7月23日、第2回 10月16日、第3回 12月17日、12月7日(市民セミナー) ⑤ 認知症連携部会(毎年3回程度開催) 第1回 10月23日、第2回 12月11日、第3回 2月3日	
	個別事例や地域課題解決に向けた地域ケア会議の活用	個別地域ケア会議及びエリア別地域ケア会議における計画書及び報告書の提出	<基幹型> 計画・報告様式を作成 在支・包括に情報提供 <在支・包括> 計画書・報告書の作成。会議開催後3～6か月を目途に状況確認	・在宅介護・地域包括支援センターは、エリア別地域ケア会議4週間前を目処に地域ケア会議計画書を基幹型地域包括支援センターに提出する。 ・提出された計画書をもとに支援の方向性や会議の進行等について、基幹型地域包括支援センターと在宅介護・地域包括支援センターで確認を行った。 ・個別地域ケア会議及びエリア別地域ケア会議の開催後3～6か月を目処に状況を確認し報告書を提出。	
介護予防ケアマネジメント	介護予防ケアマネジメント・介護予防支援の取組	要支援認定者・総合事業対象者のサービスの質の担保 ・介護予防個別検討会議の実施(サービス利用全ケース)	<基幹型> ・サービス利用の要支援認定者・総合事業対象者全員の介護サービスプランの検討 ・介護予防ケアマネジメント・介護予防支援の委託事業所の支援	ケアプラン作成件数等については資料8-2 9ページを参照	

事業項目		事業内容	基幹型と在支・包括との業務分担	実施状況	備考
在宅医療・介護連携	在宅医療・介護連携に向けた取り組み	在宅医療介護連携支援室と協働した医療介護連携の取組推進	<基幹型> ・在宅医療介護連携支援室と連携・調整し、相談に対応 ・在宅医療介護連携推進協議会に出席 <在支・包括> 医療介護連携に関する相談機能を強化	武蔵野市在宅医療介護連携支援室(平成27年7月に武蔵野市医師会内に開設)の活動実績(令和6年4月～令和7年3月までの実績) ・相談件数: 172 件 相談内容:在宅療養調整 78 件、入院入所調整 19 件、退院支援 10 件、転院支援 16 件、COVID3 件、MCS10 件、その他 36 件 相談元:医療機関 38 件、基幹型及び在宅介護・地域包括支援センター34 件、ケアマネジャー62 件、訪問看護3件、訪問介護0件、通所サービス 2件、施設2件、その他 31 件 ・訪問件数:98 件 訪問先:医療機関 57 件、基幹型及び在宅介護・地域包括支援センター22 件、ケアマネジャー8件、訪問看護2件、施設3件、他区市連携支援室0件、その他 6件	
		入退院時支援・在宅医療介護連携の調整	<基幹型> ・医師会・地域支援課・関係機関と連携・調整 ・入退院支援部会に出席 <在支・包括> ・連携・相談の強化 ・個別事例の支援	・武蔵野市在宅医療・介護連携推進協議会の入退院支援部会の部会員として参加。 ・「入院時の情報連携シートの活用」 ・オンラインによる医療・介護連携について ・入退院時の支援について、医療・介護それぞれの立場から意見交換を行った。 ・第1回令和6年7月8日(月)午後7時～午後8時30分 市役所 811 会議室 ・第2回令和6年10月8日(木)午後7時～午後8時30分 市役所 412 会議室 ・第3回令和7年1月8日(水)午後7時～午後8時30分 市役所 411 会議室	
		摂食嚥下支援体制の整備・推進	<基幹型> 歯科医師会・地域支援課・関係機関と連携・調整 <在支・包括> 個別事例の支援	・令和6年度は、市内通所介護事業所での摂食嚥下機能評価を推進し、実施した。事業所では、事前にスクリーニングを行い、当日はスクリーニングをもとに事前カンファレンス、ミールラウンド、事後カンファレンスを行う。また、振返りを兼ねて、歯科医師会、ケアマネジャー、通所介護事業所、市で意見交換会を行った。 とらifu武蔵野 【ミールラウンドの実施】	

事業項目		事業内容	基幹型と在支・包括との業務分担	実施状況	備考
在宅医療・介護連携	在宅医療・介護連携に向けた取組み			日時:令和6年11月7日(木) 午前11時30分から午後1時30分 対象者:3名 【意見交換会】 日時:令和7年2月14日(金) 午後7時30分から午後8時15分 参加者:歯科医師会、とらいふ武蔵野、ケアマネジャー、高齢者支援課	
認知症高齢者支援	認知症高齢者支援の取組み	認知症支援コーディネーター(認知症地域支援推進員)の配置による認知症連携の強化	<基幹型> 武蔵野赤十字病院や医師会と連携した認知症初期集中支援チームの支援により、適切な医療・介護につなぐ。 <在支・包括> 認知症初期集中支援チーム等の仕組みを活用し、認知症の早期発見・早期対応に取り組む。	・認知症支援コーディネーター(認知症地域支援推進員)を市内6か所の在宅介護・地域包括支援センターに配置 ・保健師等連絡会議(旧認知症コーディネーター会議) 在宅介護・地域包括支援センターの保健師による会議を定期的に行い、認知症、フレイル予防等に関する地域づくりや支援体制の整備について情報共有及び協議を行う。例年隔月開催としていたが、フレイル予防事業の進捗状況等より緊密な情報共有を図るため、令和3年6月以降は毎月実施。 ・認知症アウトリーチチーム 該当ケースなし(初期集中支援事業により、医療機関への連絡調整、受診手配、かかりつけ医との連携等を行い対応したため。) ・認知症サポーターステップアップ講座の企画・運営、認知症相談への同席による適時適切な関係機関との連携、地域への認知症普及啓発の促進を目的とする独自講座の企画などを実施。	
		在宅医療・介護連携推進協議会の認知症連携部会の運営支援(年3回)	<基幹型> 会議開催 <在支・包括> 会議に出席	・医師会、薬剤師会、認知症疾患医療センター等の医療関係者と、居宅介護支援事業者、通所介護事業者等介護事業所関係者、在宅介護・地域包括支援センター職員、行政職員などで構成。 ・認知症高齢者支援のための在宅医療・介護連携体制の構築・推進に関する事項のうち、主として以下の事項について検討することを目的とし、年2～3回程度開催。 ○第1回部会:令和6年10月23日(水)オンライン開催 今年度の取組み(案)について協議した。 ○第2回部会:令和6年12月11日(水)武蔵野市役所西棟412会議室 「行動・心理症状(BPSD)に着目した認知症ケアのアプローチ」 西田 淳志氏(東京都医学総合研究所 社会健康医学研究センター)	

事業項目		事業内容	基幹型と在支・包括との業務分担	実施状況	備考
認知症 高齢者支 援	認知症高齢 者支援の取 組み			○第3回部会：令和7年2月3日(月)オンライン開催 意見交換会、BPSD ケアプログラム事例紹介	
		もの忘れ相談 シートの活用促 進	〈基幹型〉 シートの活用・周知等 〈在支・包括〉 認知症相談や認知症 症状で医療機関に受 診する際に、シートを積 極的に活用	○もの忘れ相談シート活用件数ー合計 93 件活用 認知症相談-71 件(在支・包括、市役所実施分)、認知症疾患医療センターに よる相談会7月ー2件、2月ー3件、休日相談会9月ー15 件、3月ー2件 ※健康長寿のまち武蔵野推進月間において、医師会による休日相談会を実 施した。	
	認知症高齢 者支援の取 組み	認知症相談事 業の実施	〈基幹型〉 ・認知症専門相談員に よる相談会の開催 ・医師による相談会の 開催 〈在支・包括〉 相談に同席し、助言を 行う。	・月3回、市役所または在宅介護・地域包括支援センターを会場にした認知症 予防財団相談員による認知症相談を実施。令和2年6月より新型コロナウイルス 感染症拡大防止のため電話相談も可として実施。 相談件数:71 件(令和6年 11 月末現在) ・医師会と協働した認知症相談の実施 令和6年9月8日(日)に「健康長寿のまち武蔵野推進月間」において医師会の 医師(もの忘れ相談医)による休日相談会を開催。 相談件数:15 件 ・令和7年3月 16 日(日)に医師会の医師(もの忘れ相談医)による休日相談会 を開催。相談件数:2件 ・認知症疾患医療センターと協働した認知症相談(無料相談会)の実施 令和6年7月 31 日(水)相談件数:2件 令和7年2月 18 日(火)相談件数:3件	
		認知症初期集 中支援チームの 運用	〈基幹型〉 認知症初期集中支援 チームの支援及び評価	・認知症初期集中支援事業 新規実施3件。全事例において、チーム支援検討会議にてチーム支援適応 の有無を確認。	

事業項目		事業内容	基幹型と在支・包括との業務分担	実施状況	備考
認知症 高齢者支 援	認知症高齢 者支援の取 組み	認知症に関する 普及・啓発	<在支・包括> 認知症初期集中支援 チームの運用	本人・家族、かかりつけ医、認知症サポート医、武蔵野赤十字病院認知症 疾患医療センター相談員、基幹型、在支・地域包括支援センター等がチーム となり認知症の方々の課題解決のため取組を行っている。	
			<基幹型> ・認知症サポーター養成講座等普及啓発方 法の検討 ・チームオレンジの活動 について検討 <在支・包括> 基幹型と連携して普及 啓発を実施	・認知症サポーター養成講座の実施 講座開催数:23回(内:定例実施9回) 延受講者数:302名 ・認知症サポーターステップアップ講座の実施(連続講座)全4回 第1回『具体的な事例を通して、認知症の方への接し方を学ぼう』 開催日 令和6年7月12日(金) 講 師 吉祥寺ナーシングホームデイサービスセンター 施設長 能丸 創氏 会 場 武蔵野商工会館 4階 市民会議室 受講者 21名 第2回『認知症の方の気持ちを知ろう』(台風により中止) 第3回『認知症の方への声かけを学ぼう』 開催日 令和6年11月12日(火) 講 師 日本社会事業大学教授 下垣 光 氏 会 場 武蔵野市役所西棟412会議室 受講者 29名 第4回『地域で何ができるか考えてみよう』 開催日 令和6年12月9日(月) 会 場 市役所西棟412会議室 内 容 グループワーク、地域活動紹介 受講者 13名 ・サポーターズミーティング	

事業項目		事業内容	基幹型と在支・包括との業務分担	実施状況	備考
認知症 高齢者支 援	認知症に関 する普及・啓 発	認知症に関する 普及・啓発	<基幹型> ・認知症サポーター養成講座等普及啓発方法の検討 ・チームオレンジの活動について検討 <在支・包括> 基幹型と連携して普及啓発を実施	認知症サポーターステップアップ講座修了者がチームオレンジとしての活動を見すえて、認知症カフェを実施。 ① ミーティング 第1回 日時:令和6年5月17日(金) 場所:北町高齢者センター2階会議室 参加:5名 第2回 日時:令和6年7月18日(木) 場所:スイングホール 11 階レインボーサロン A 参加:3名 第3回 日時:令和6年10月8日(火) 場所:北町高齢者センター2階会議室 参加:3名 第4回 日時:令和6年12月19日(木) 場所:スイングホール 11 階レインボーサロン A 参加:9名 第5回 日時:令和7年3月6日(木) 場所:北町高齢者センター2階会議室 参加:6名 ② 認知症カフェ 第4回ほっとサロン武蔵野 日時:令和6年8月24日(土) 場所:スイングホール 11 階レインボーサロン A 参加:11 名 第5回ほっとサロン武蔵野 日時:令和7年1月24日(金) 場所:スイングホール 11 階サインボーサロン A 参加:16 名 ○いきいきガーデンサポーター(グリーンカーテン) ・地域の高齢者のフレイル予防及び認知症のある方の社会参加の機会として、おおむね65歳以上の方、認知症のある65歳未満の方を対象に市役所1階正面玄関のゴーヤへの水やりとラジオ体操を実施した。夏季期間終了後はプランターに花を植え、育てている。	

事業項目		事業内容	基幹型と在支・包括との業務分担	実施状況	備考
生活支援 体制整備	生活支援 コーディネーターや協議 体と連携した 取組み	生活支援コー ディネーターを 中心とした地域 の自主的な取組 の支援 地域住民が自主 的に運営する多 様な通いの場を 支援	〈基幹型〉 地域の関係機関や団 体との連携 〈在支・包括〉 いきいきサロン等の社 会資源の立ち上げ支 援、事業の継続支援	・通いの場(テンミليونハウス、いきいきサロン、健康やわら体操、不老体操、 地域健康クラブ)への参加者実人数、テンミليونハウス 989 人(登録 者数)、いきいきサロン 407 人(登録者数)、健康やわら体操 50 人、不老体操 373 人、地域健康クラブ 1,133 人 計 2,952 人 ・生活支援コーディネーターの活動実績は資料7のとおり	
		生活支援サービ ス整備に関する 定期的な情報共 有や連携強化 等のための協議 体と連携 ・第1層(市全域 レベル)「地域 包括ケア推進協 議会」を協議 体として位置付 け ・第2層(日常生 活圏域レベル) の協議体は既 存の会議等を活 用	〈基幹型〉 ・生活支援コーディ ネーター連携会議の 開催 ・地域包括ケア推進協 議会への報告 〈在支・包括〉 ・生活支援コーディ ネーター連携会議に 出席 ・各地域での協議会へ の参加	・第1回地域包括ケア推進協議会(第1層協議体)を令和6年6月27日(木)に 開催(WEB 併用)。 ・第2回地域包括ケア推進協議会(第1層協議体)を令和7年1月20日(月)に 開催(WEB 併用)。 ・生活支援コーディネーター連携会議 第1層及び第2層の生活支援コーディネーターによる会議を隔月に開催し、 地域の自主的な取組みや、生活支援コーディネーターの活動を通しての地域 課題等についての情報共有、検討を行った。	

事業項目		事業内容	基幹型と在支・包括との業務分担	実施状況	備考
一般介護予防	介護予防推進にむけた取り組み	フレイル予防・介護予防の取り組みを推進	〈基幹型〉 健康寿命延伸のためにフレイル予防・介護予防事業の企画、実施 〈在支・包括〉 基幹型と連携して、フレイル予防・介護予防事業を実施	資料8-2 14 ページ参照	
		介護予防事業連絡調整会議の開催	〈基幹型〉 フレイル予防・介護予防のきっかけづくりや実際の取り組みについて、庁内介護予防事業関連部署、団体と検討、実施	・高齢者総合センター(社会活動センター)、健康づくり事業団(健康づくり支援センター)、健康課、生涯学習スポーツ課、高齢者支援課の担当職員による介護予防事業連絡調整会議担当者会議の実施。 - 第1回 令和6年5月30日(木)開催 ・令和6年度介護予防事業・健康づくり事業の情報交換 ・「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施」について - 第2回 令和6年12月18日(木)開催 - 地域マネジメント支援システムを活用した地域分析について	

事業項目	事業内容	基幹型と在支・包括との業務分担	実施状況	備考
指定介護予防支援	・介護保険における予防給付等の対象となる要支援者への介護予防サービス計画の作成及び関係機関との連絡調整 ・介護保険制度の適切な運営による自立支援・重度化防止の推進	〈基幹型〉 ・指定介護予防支援事業所として、契約・サービス担当者会議への出席・給付管理業務を実施 ・軽度者（要支援1・2、総合事業対象者）のサービス担当者会議全件に立ち合い、サービスの質の担保を図る 〈在支・包括〉 指定居宅介護支援事業所として受託	介護予防マネジメント（事業対象者）および介護予防サービスの利用者のサービス担当者会議に出席し、介護予防等に関する助言や提案を行った。 ケアマネジャーによる、自立支援に資するケアマネジメントが提供されるよう、毎週1回基幹型包括で介護予防検討会議を実施。令和6年4月から令和7年3月まで 36回 136件の検討を行った。	
	災害時避難行動支援体制の推進	〈基幹型〉 介護予防支援事業所としての業務継続計画を実施	感染症や自然災害が発生した場合であっても、介護サービスが安定的・継続的に提供されることが重要である。直営だけではなく委託先との連携もふまえ、業務継続計画を作成し、実施している。	
感染症対策予防	感染症対策予防の推進	〈基幹型〉 庁内関係部署と連携を図り、感染対策予防等の普及啓発及び実施	感染症対応レスキューヘルパー、いきいき支え合いヘルパーそれぞれを対象とした感染症マニュアル（第2版）を活用した。	